



平成22(2010)年12月20日(月)発行  
 発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹  
<http://www.nakayama-clinic.jp>

特 集

## 院長講演の感想

(大飯中学校生徒さん)

去る12月9日、おおい町の大飯中学校、3年生対象に行われた「性教育講演会」において、当院の中山茂樹院長が講演を行ないました。それを聴講した生徒さんの感想文が当院に届けられましたので、掲載します。

〈先生のお礼文〉 男女の体の違いや妊娠のしくみ、十代の妊娠、出産が心身に及ぼす影響や、性感染症についてなど、多くのことを分かりやすくご指導いただきました。また、大人に向かう思春期の今、いろいろな誘惑に惑わされることなく、心や体を大切にすることも理解することが出来ました。

### 〈男子生徒の感想文〉

- ・ きょうはいろいろな病気のことがわかりました。病気には沢山の種類があってびっくりしました。正しい知識を知ることができてよかったです。自分だけでなく、相手のことも考えて行動をしていきたいです。
- ・ 今まで性について関心はなかったけれど、きょうの講演で性行為の危険性についてたくさん知ることができました。責任がなかったり、心得がなかったりする人は性行為は絶対にしてはならないなと思いました。妊娠を防ぐだけでなく感染を防ぐためにコンドームは絶対に必要なことがわかりました。でも自分に責任がもてるようになってから行動をしなくてはいけないなと思いました。今日のお話を未来に生かしたいです。
- ・ 今日の講演を聞いて、性については大人になっていく中学生にはとても大切なことだと思いました。相手のことも考え、何事にも責任をもたないといけないと思いました。講演の後半にもありましたが、マンガやテレビなどの規制なども日本はどんどん変わって行って、個人が出版した同人誌などにも間違った描写があるというニュースを見たことがあります。これからの人生をしっかりと考えて生活をしたいと思いました。

### 〈女子生徒の感想文〉

- ・ 性感染症で死ぬこともあると聞いて、とても怖いものだなとあらためて思いました。私くらいの歳での妊娠は自分も相手も傷つくことになるのでダメだなと思

ました。自分を大切にしていきたいと思いました。

- ・ 中学生や高校生が子どもを産んでしまうケースがあって少し驚きました。先生が話されていたとおり、まだ、体も心も成長途中で、しっかりした知識も持っていない中高校性にとって子どもを育てるのは「夢」などをあきらめてしまうことにもつながるので、性に対してしっかりした知識をもつことが大切だと思いました。講演会で学んだことをしっかり覚えておいて自分の夢をあきらめることのないよう体や心を大切にしていきたいと思います。
- ・ 講演会を通して男子や女子の体についてや性のことについてたくさん分かりました。今の日本はエイズの人が増えてきています。一人一人が体のことに気をつけて意識すればエイズなどは減ってくると思います。もし、エイズになったら赤ちゃんもエイズになるということを知りびっくりしました。将来のことを考えると、自分の体は自分で守り、体を大切に、夢や希望をたくさんもってこれからも行動をしていきたいと思

### 《お知らせ》

- 1) インフルエンザの予防接種はもうほとんど終わっていますが、今冬は今のところあまり流行していません。まだ接種していない人は、今からでも遅くはないのでなさるといいな、と思います。
- 2) 「ガン」が日本人の死因の第1位になって30年が経過しました。国では07(平成19)年4月から「ガン対策基本法」が施行され、ガン死亡率を20%減らす運動が始まりましたが、それには予防検診が先ず大事です。福井県はガン死亡率は全国的に低いほう(上位2~6位)ですが、5つのガン(胃、大腸、肺、子宮、乳房)の受診率は15~37%で50%の目標に到底達していません。皆さん、進んで受診しましょう。
- 3) 当院、ミニギャラリーは11月から木越和夫さん(小浜市雲浜)の草花彩色画でしたが、12月からは川口岩雄さん(小浜市遠敷)の風景写真になりました。小浜市金屋の「万徳寺」や舞鶴市の「金剛院」の紅葉の映えた赤が見事に撮られています。ご鑑賞下さい。(川口さんの写真の季節性から急遽展示することにしました。)